

様式第7 - 2 (一体評価すべき借地権等が存する場合で、残借地補償を伴う場合)  
 [残借地が通常妥当と認められる移転先とならない場合]

## 残地補償・残借地補償額算出表

### 1 土地評価の単位

所在地	公簿地目	現況地目	買収面積	残地面積

1 土地の所有者ごとに、当該様式を作成する。

### 2 残地の価値減価格の算定

標準地価格		円/m <sup>2</sup>		価格時点	年 月 日	
路線価等の権利割合		土地所有者	%	権利者	%	
権利割合の根拠		路線価		その他		
取得に係る画地	底地評価価格	標準地価格	当該土地の格差率	路線価等の権利割合	底地評価価格(A)	
		円/m <sup>2</sup> × $\frac{\quad}{100}$ × $\frac{\quad}{100}$ =	円/m <sup>2</sup>			
	借地権評価価格	標準地価格	一体評価による格差率	路線価等の権利割合	借地権評価価格(B)	
		円/m <sup>2</sup> × $\frac{\quad}{100}$ × $\frac{\quad}{100}$ =	円/m <sup>2</sup>			
	一体評価価格	底地評価価格(A)	借地権評価価格(B)	一体評価による評価価格(C) (A + B)		
		円/m <sup>2</sup> +	円/m <sup>2</sup>	=	円/m <sup>2</sup>	
残地	底地評価価格	標準地価格	当該残地の格差率	路線価等の権利割合	底地評価価格(D)	
		円/m <sup>2</sup> × $\frac{\quad}{100}$ × $\frac{\quad}{100}$ =	円/m <sup>2</sup>			
	借地権評価価格	標準地価格	一体評価による格差率	路線価等の権利割合	借地権評価価格(E)	
		円/m <sup>2</sup> × $\frac{\quad}{100}$ × $\frac{\quad}{100}$ =	円/m <sup>2</sup>			
	一体評価価格	底地評価価格(D)	借地権評価価格(E)	一体評価による評価価格(F) (D + E)		
		円/m <sup>2</sup> +	円/m <sup>2</sup>	=	円/m <sup>2</sup>	
価値減価格	取得に係る画地の一体評価による評価価格		残地の一体評価による評価価格(F)	残地の価値減価格(G) (C - F)		
	円/m <sup>2</sup> -	円/m <sup>2</sup>	=	円/m <sup>2</sup>		